

授業タイトル

「液体窒素の実験 - 196℃の世界」

◆どんな授業？

液体窒素って何かご存じですか？ 私たちの吸っている空気の成分は、窒素が約8割、酸素が約2割とされています。その窒素ガスをどんどん冷やしていくと液体になります。その液体の温度が-196℃なのです。部屋の温度が20℃、氷の温度は0℃、スーパーなどで見かけるドライアイスは-78℃ですから、液体窒素の温度はそれよりずっと低いことがわかります。普段は決して見ることができない超低温の世界を簡単な実験を通してわかりやすく紹介します。

◆こんな実験

- ・間近で見るとどんな液体？
- ・液体窒素を机の上にこぼすとどうなるの？液体だから机がぬれちゃう？
- ・風船を液体窒素に入れたらどうなるの？割れちゃう？しぼんじゃう？
- ・ゴムボール液体窒素に入れるとどうなる？



コーラのペットボトルを液体窒素にいれるとどうなる？

◆授業時間 45分～90分（時間・内容等相談可）

自然の不思議を体験しよう